

2019年7月28日（日）

主 題：「心悩ませる人は幸いです」

—人生の解決—

聖 書：マタイの福音書 6章5～9節

はじめに

- ・あなたは“悩み”かかえたとき、どうされるでしょうか？

人生で悩まない人は、誰ひとりいません。悩みに出会うと、もし悩みがなければ、どんなに幸いかと思うものです。しかし、本当にそうでしょうか。

『例 話』

- ・ある中年女性から、こんな話を聞きました。私が中学1年の時、私の母は男の人へ走り家を出ました。多感な時期であった私の心は深く傷つき、気が狂いそうで、自分で自分の体に傷をつけました。
- ・私はそんな母を許すことができず、母を憎み、自分は母に捨てられたのだ。自分ほど不幸な人間はいないと思い、ずっと過去にこだわり続けていました。
- ・一方父は病弱で、私が8歳から18歳までの間、ずーと入院し、45歳の誕生日に他界しました。その後私は成人し結婚しましたが、私の心の傷は癒されるとはありませんでした。1年半ほど前、私の兄が42歳の若さで命を落としました。私は私ほど不幸な者はいないと、思っていました。
- ・先日、私は母に会いました。私は「私はあなたを知らない。これまで好きな生き方をしてきたのだから。」、と言ってしまいました。そのせいか、私は生きることがとても苦しく、重くて、生きている意味すら分からなくなりました。物事を悪い方にばかり考えて、とうとう死んでしまいたいと思うようになりました。
- ・私は子どもだけが生きがいで、子どもにしがみついていた。子どもが独立したら、何を生きがいにすれば良いのか分かりませんでした。また、人が信じられず、人の中に入っていくことも避けるようになりました。
- ・それが、教会に行くようになってからは、不思議なことに、そのような過去へのこだわりから解放され、自分があれほど悩んでいた自分と思えないほどになりました。「神はいつも私を見てくださり、愛してくださっている。」ということを知り、それからの私は一人ではない。私の人生は何があっても、神が私のために与えてくださったと思えるようになりました。すべて神のご計画にお任せしようと思えるようになったのは、とても感謝なことです・・・。

（彼女はその後、教会で洗礼を受けクリスチャンとなりました。）

- ・皆さん。この女性は幸いにも教会へ来られるようになり、神を信じて新しい人生に入ることができ幸いでした。人には悩みがあります。大なり小なり、悩みのない人は、誰ひとりいません。しかし、人は神によって変えられます。たとえ暗い、寂しい人生であったとしても、神には私たちを変える力があります。
- ・ところで、イエスは愛する弟子たちに、いろいろなことを教えられました。

中でも多くの方々に知られている箇所の一つに、「主の祈り」というものがあります。それは弟子たちが、どのように祈ればよいかと尋ねられたとき、教えられた「お祈り」です。それが「天にいます私たちの父よ。」で始まるお祈りです。 **マタイ福音書6章9～13節**

『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。

御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

私たちが試みに会わせないで、悪からお救いください。』

国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。 アーメン。

- ところが、イエスは不思議なことを言われました。
「あなたがたの父なる神は、あなたがたが願う前に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。」 **マタイ6：8**
- 皆さん。天の父なる神は、必要を知っておられます。では、なぜお祈りすることを薦められたのでしょうか。
今日、私たちは、一度しか与えられていない人生について考えてみましょう。

大切なポイント

1. 私たち人間の問題はどこに

1) 基本的な問題

- 私たちがよく思うことは：
 - 分かってもらえない！ 聞いてもらえない！
 - 受け入れてもらえない！ 評価してもらえない！
 - 自分は愛されていない！
- これらの悩みの背景にあるものは、⇒ 自分の本当の姿が見えていないものがあります。見えないから、だれも自分のことを分かってくれないと思います。見えないから、評価してもらえないと思います。見えないから、愛されていないと思うのです。
- しかし皆さん。イエスは、じつに不思議なことを言われました。
「**天父神はあなたがたの必要を知っておられる。**」
つまり、私たちをご覧になっている方がおられます。それは天地を造られた神です。しかも神は私たちを本当に理解し、受け止めてくださるお方です。そのお方こそ天地万物をお造りくださった「神」です。
- 皆さん。人が作り出した神々ではありません。天地の造り主です。天と地とその中のすべてをお造りくださり、そして今も支配して支配くださるお方です。
ところが、私たちは長い間、この神について聞かされていませんでした。
ですから、人は悩む苦しむのです。聖書は作り主がおられると名言しています。

2) 人はその解決の道知らない

「あなたがたの父なる神は、あなたがたがお願いする先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。」 マタイ 6 : 8

- なんとという慰め、勇気、力ある言葉ではありませんか。天地を創造された神であるからこそ、あなたのすべてをご存知なのです。今日、私はこの神を紹介させていただきたく思います。

2. 人生の問題解決の道はどこに？

1) 問題解決の道

- 結論から先に申し上げます。それは天地の造り主である「神」にあります。では、問題や課題をかかえる私たちは、どうすればよいのでしょうか。聖書はこの問いに答えを提供しています。

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。

神を信じ、またわたしを信じなさい。ヨハネ 14 : 1

つまり天の父なる神を信頼することです。ここに問題解決の道があります。

神は必要なものをすべてご存知です。人生を見る私たちの眼差しを、すべてご存知のお方に向けることです。

- 自分を理解してくださるお方に、目を向けてください。
自分を理解してくださるお方を信頼してください。
自分を受け入れてくださるお方を信頼してください。
自分を正しく評価し、励ましてくださるお方を信頼してください。
心から神を信頼することです。
- 皆さん！ 私たちが受ける逆境は、回復力、処理能力、逆流に耐える能力のよいテストになります。逆境は苦痛を伴いますが、私を育ててくれる教育係りでもあります。その当座は、決してそう思えないのですが、後日振り返る時、そう言えることがあります。

『例 話』

- 英国のエディンバラ大学学長で、随筆家、歴史家でもあったトーマス・カリル (Thomas Carlyle) 氏はこう言いました。
- 「逆境は確かにつらいが、逆境に耐える 100 人のうち、繁栄に耐えられるのは 1 人だけだ。」成功して、豪華でぜいたくな生活をしながら、道徳的、霊的、金銭的バランスを保つことができる人は、ほとんどいません。
- 皮肉にも多くの場合、栄転よりも、左還の方がはるかに良い人生勉強になるのです。それは、なぜでしょうか？ 説明はそんなに難しいことはありません。
- 逆境が襲うとき、生活はむしろ単純になります。生き残りさえすればいいのです。夜を過ごすことができればいいのです。そこを通過して、貴重な人生の勉強をするからです。
- しかし繁栄するとき、必要なものが無数に増え、人生はしばしば非常に複雑になってしまうのです。私たちはいつも試されるのです。そして 100 人の内、妥協すること

なしに最後まで成功することができるのは、わずか1人しかいないのです。それほど人間は弱さをもつものです。

- 私たちは苦しみの中でこそ、また悩み戦うときにこそ、神を信頼することです。神は信頼に値する方であるからです。聖句聖書はこう言っています。

「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」ローマ10：11

2) なぜ、失望させられることはないのか

- では、なぜ神は失望させることはないのでしょうか？

それは、神が私たち一人一人を真に愛してくださっているからです。

神は愛なるお方です。神は愛してくださっている故に、私たちを失望させることはないのです。

{例話}

- 私が尊敬する人に、Arnold Rose 世界巡回伝道師がいます。彼は旧ソ連邦で生まれたドイツ系ロシア人でした。20世紀はじめ、ソ連が社会主義国家となり多数のユダヤ人、ドイツ人は下層民族として迫害を受けました。（詳細は私の“無から有を生み出す神”をお読みください。）
- 彼がまだ少年であった頃、一家は貨車に載せられてシベリアの奥地へ強制労働のため送られました。食物も乏しい時代、餓死者が次々に出た恐ろしい時代であった、と彼は言います。シベリアの収容所はバラックで、粉雪が隙間から入ってくる粗末な小屋であった、と彼は言います。
- クリスチャンの両親は、床に子どもたち（8人？）を一行に並べて寝かせていました。彼は寒さと空腹で眠ることができず、上にかけてあったワラの隙間から覗くと、両親が子どもたちのためにお祈りしている姿が目に入りました。
- 両親は両端にひざまずき、両手を子どもたちの方に向けて祈りを捧げていました。「神よ、私たちをこの地に連れて来て感謝します……。あなたは決して失敗される方ではありません。」と。両親が粉雪が舞い入るバラックで、祈っていた姿が心に焼き付いて離れないと、言います。
- そこで、彼はこう言いました。「約30万人以上が、食物不足で餓死した時代、ローゼ家族では誰一人命を失った人はいなかった。」

神は両親の祈りにお答えくださり、私たち家族を守ってくださったと証しています。

神の愛が注がれ守られたのです。神は、愛する者を決してお見捨てにはなりません。

聖書の言葉：

「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」ローマ10：11

- 神は、神の御子イエス・キリストをこの世にお遣わしになられました。そして十字架におつけになられました。しかし御子イエスは、聖書が語るように、死んで3日後に復活されました。死に勝利されました。
- なぜ、でしょうか・・・？ それは私たちの罪のためです。私たちは神の前に皆、罪人にすぎません。聖書はこう語ります。ローマ

3:10 義人はいない。ひとりもない。

3:11 悟りのある人はいない。神を求める人はいない。

- ・罪ある者が、聖い神と交わることはできません。まして神の国に入ることもできません。神はイエス・キリストを罪人の代わりに十字架にかけて、罪を罰されました。それは神の愛です。そして、ただ、イエスの十字架が私の罪のためであると信じるだけで（信仰）、神は罪をお赦しくださる道を成就してくださいました。

- ・ 1 ヨハネの手紙

1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

- ・ 1 ヨハネの手紙：

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

- ・ 皆さん！ 私たちも神の愛を受けようではありませんか。そして永遠の命を自分のものとして、神の国に入る者とさせていただこうではありませんか。

ま と め

主 題：「心悩ませる人は幸いです」

—人生の解決—

- ・ 人には多種多様の悩みがあります。多くの人々が問題をかかえ、悩んでいます。あなたはいかがでしょう？ どのような人生の解決の道を持っておられるでしょうか。
 1. 必要を知っている神がいる。
神は解決の道をも備えておられます。
 2. 必要なことは、神を信頼すること
イエスのことば：「天父神はあなたがたの必要を知っておられる。」
ですから、天の父よ。と祈ることを教えられました。

聖書の言葉：1 ヨハネの手紙

1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

- ・ あなたもイエス・キリストを信頼し、神の国へ入る人となってください。

* God bless you !